



1.個室は全てゆとりのある造りで、冬は雪見障子からのぞく景色も格別。写真は「萩の間」。 2.館内を彩る調度品の中でも、西陣織による「洛中洛外図屏風」の飾りついたては一見の価値あり。 3.静謐な佇まいの玄関。足を踏み入れた瞬間から、ここにしかない美食体験が始まる。 4.さりげないしつらえにも、連綿と受け継がれてきたもてなしの心が込められている。 5.築100年を越す木造建築は、幾度かの改修を経て現代的な快適性を備えているので安心を。

懐石料理 東洋館

☎022・222・7019 <https://toyokan.jp/>

④仙台市太白区向山1-1-16

⑧食事／11:30～15:00(14:00最終入店)、
17:00～22:00(20:00最終入店)

⑥月曜(祝日の場合は翌日) ⑨あり

予約／完全予約制

目安／昼7000円、夜1万5000円 カード／可

⑩全席禁煙



スガワラホールディングス 〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町2丁目5番4号 TEL.022-782-5777



TOPIC

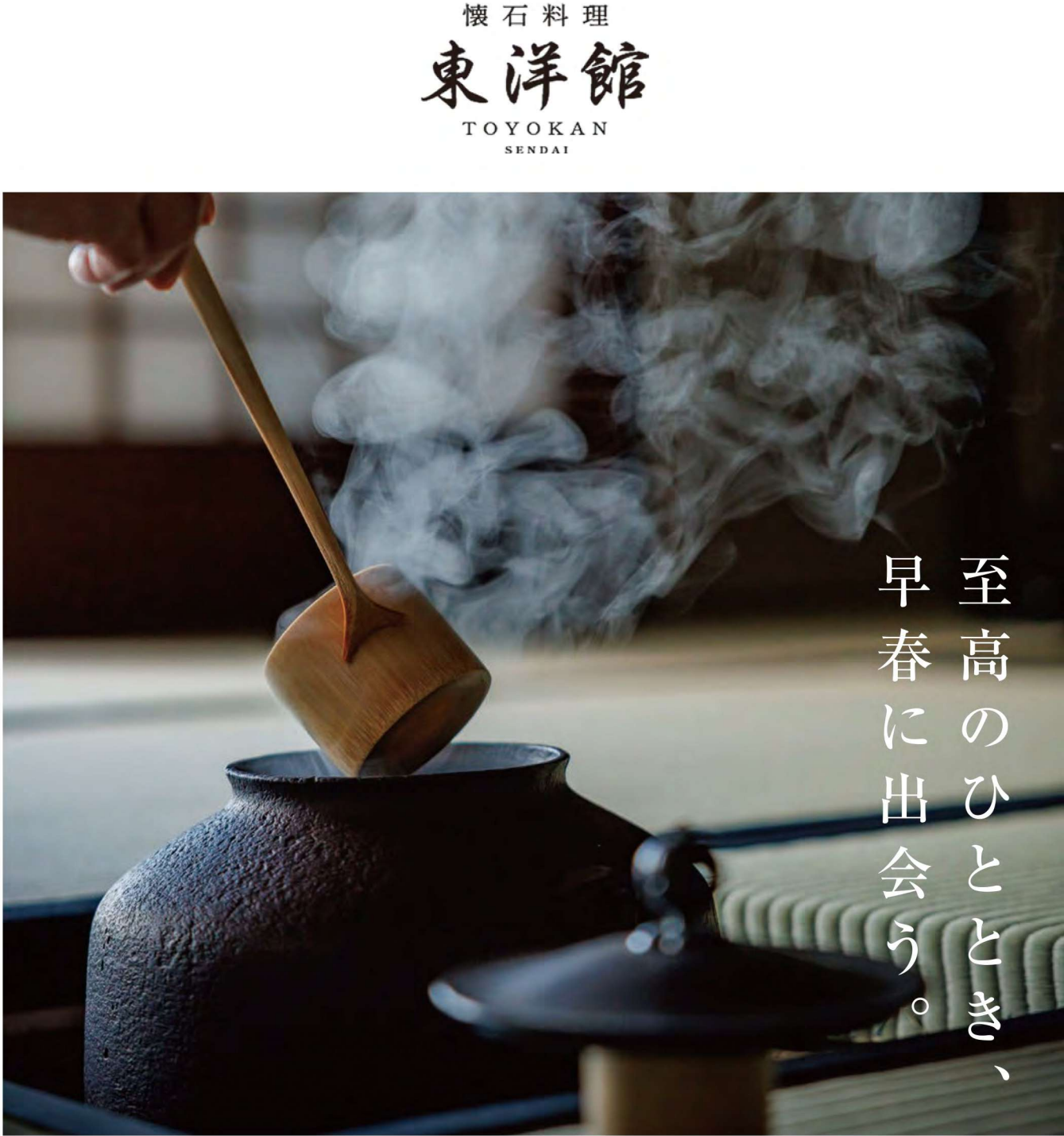
昼の特別懐石料理

「雛祭り懐石」

1万120円(税・サ込)

※～3月3日(火)までの提供

毎年好評を博している「雛祭り懐石」が今年も登場。本鮪や閑上赤貝を盛り込んだお造り、筍や北寄貝の焼物、ひな祭り定番のちらし寿司やはまぐりのお吸い物など、桃の節句にふさわしい逸品揃い。遊び心のある盛り付けや器使いもお祝いムードにあふれ、料理が運ばれるたびに感嘆の声が漏れるはず。床の間には享保雛や古今雛、堤人形の雛人形が飾られ、春の気分を一層盛り上げてくれます。 ※懐石の写真はイメージです



老舗料亭に受け継がれる
一期一会のおもてなし
草木が芽生え始めるこれからの季節、春の兆しを探しに『懐石料理 東洋館』へ。足を踏み入れると、そこは落ち着きと品格をたたえた非日常の空間。明治40年創業当時の姿を留める木造の建物は、随所に意匠が凝らされ、磨き上げられた廊下にも老舗料亭の風格が漂っています。
8つの和室は完全個室。床の間にはその時季にふさわしい掛け軸と生け花が飾られ、お食いの初めや七五三、両家顔合わせ食事会、結婚披露宴、長寿祝いといったハレの日には、縁起の良いしつらえで迎えてくれます。窓の向こうに広がるのは、仙台市内を見渡す唯一無二の景色。眼下に広瀬川、晴れた日には遠くに太平洋を望み、夜にはビル群の幻想的な夜景を楽しむことができます。
メニューは昼夜共にコースのみ。走り・盛り・名残の3つの旬を組み合わせ、盛り付けや器使いにもこだわって季節の移ろいを映します。料理のおいしさは言わずもがな。東洋館が愛される理由は、接客サービスにあります。出迎えから見送りまで、料理を運ぶ間合いや料理の説明などにも気を配り、一期一会の心を尽くします。祝い事が增える春、おもてなしの席にも最適です。